

| | | | | | | | | |
|--|---|------|------|---|-------------|---------------------|-----|------------|
| 授業科目 | 乳児保育Ⅱ | | | | 単位 | 1 | | |
| 履 修 | 選択 | 関連資格 | 保育士 | | ナンバリング | CH21319J | | |
| 開講年次 | 2 | 開講時期 | 前期 | 該当DP | DP2-1 DP5-3 | | | |
| 担当教員 | 池田 佐輪子 | | | | | | | |
| 授業概要 | 近年の社会情勢の中、ますます乳児保育の必要性が高まり、乳児保育担当者としての高い専門性も求められるようになってきた。本授業では、多様化する保育ニーズに責任をもって応えていけるように、「乳児保育Ⅰ」で学んだ理論や課題を引き継ぎ、実践する上での必要項目を明確にしていく。25年間の保育所保育士としての実績をもつ実務家教員として、保育内容、環境構成、指導計画、連絡帳等、現場で生かせる基本的な知識・技術・実践力が身につくように授業を行う。そのうえで、一人ひとりの子どもとの関わりについて深く考察することができるよう、学んだ内容を保育実践の場で活かすことができるよう、視点を定めてグループワークを行い、学生による主体的な討議や実技を展開する。 | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | 1.3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。 2.養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもたちの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解し、保育の現場で実践できるようにする。 3.乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。 4.上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 0 | 0 | 10 | 20 | 30 | 40 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-2) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | 10 | | 30 | | 40 | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-1) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | 20 | | 40 | 60 | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| 標準的なレベルの理解に加え、子どもの発達の状態や気持ちを理解することを意識し、学んだことを応用しながら関わろうとする力を有している。 | | | | 学生が達成すべき行動目標に挙げた4項目について理解し、関わり方の基礎が習得できている。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | | | 授業の運営方法 | | 学習課題(予習・復習) | | 予習・復習時間(分) |
| 1 | テーマ:オリエンテーション | | | オリエンテーションにて授業の進行と | | 復習:「乳児保育Ⅰ」の内容を振り返る。 | | 復習:15分 |

| | | | | |
|----|--|--------------------------|---|---------------|
| | 「乳児保育Ⅰ」での学びをさらに深めていく、授業の概要と目標、課題及び提出物について説明する。 | 単位取得の方法を説明する。 | | |
| 2 | テーマ:乳児保育の基本、役割と目標 乳児保育の役割と目標を明確にしたうえで、子どもと保育者との関係の重要性を知り、子どもの主体的な育ちを重視した援助や関わりについて学ぶ。 | 講義 | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 3 | テーマ:乳児保育、幼児保育の一日 3歳未満児の一日の流れと保育の環境について理解する。 | 講義 | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 4 | テーマ:6か月未満の子どもの発達 子どもの発達と援助の実際について理解する。 | 講義 | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 5 | テーマ:1歳6か月前後の子どもの発達 子どもの発達と援助の実際について理解する。 | 講義 | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 6 | テーマ:3歳までの子どもの発達 子どもの発達と援助の実際について理解する。 | 講義 | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 7 | テーマ:保育の計画① 基本 長期的な指導計画、短期的な指導計画、個別的な指導計画、集団の指導計画 | 講義 指導計画の作成 グループワーク | 学習内容を整理し、指導計画を作成する。 | 指導計画の作成:60分 |
| 8 | テーマ:保育の計画② ねらいと評価 指導計画の作成と検討 | 講義 指導計画の検討 グループワーク | 学習内容を整理し、指導計画を作成する。 | 指導計画の作成:60分 |
| 9 | テーマ:保育の計画③ 留意点と環境 指導計画の作成と検討 | 講義 指導計画の検討 グループワーク | 学習内容を整理し、指導計画を作成する。 | 指導計画の作成:60分 |
| 10 | テーマ:子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境 提出された指導計画について気づいた点を適宜フィードバックしながら、子どもの発達を促す楽しい環境・遊びについて検討し、実践してみる。 | 講義、演習 グループワーク | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 11 | テーマ:子ども同士の関わりとその援助 提出された指導計画について気づいた点を適宜フィードバックしながら、事例検討を行う。 | 講義 グループワーク | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 12 | テーマ:保護者との関係性 事例検討を行う。 | 講義、 グループワーク | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 13 | テーマ:チームで保育するという事 事例検討を行う。 | 講義 グループワーク | 復習:学習内容を整理する。 | 復習:15分 |
| 14 | テーマ:多様化する乳児保育の現状と課題 事例検討を行う。 | 講義 グループワーク | 復習:学習内容を整理する | 復習:15分 |
| 15 | テーマ:総まとめ 実践力とは何か、検討する。 | 講義 グループワーク | 授業で学んだことを踏まえ、乳児保育に期待される内容についてレポートにまとめ、提出する。 | 復習とレポート作成:60分 |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |

| | | | | |
|--------------------------------|--|--|--|--|
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 1年次に学んだ乳児保育の意義や目的、子どもの発達特性や愛着形成、自己肯定感等について復習しておきましょう。 | | | |
| テキスト | 1年生で使用した教科書 乳児保育演習ブック 監修:松本峰雄 ミネルヴァ書房 | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針解説 厚生労働省編 フレーベル館 ・新 幼児と保育 小学館 ・保育の友 全国社会福祉協議会出版部 | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | <p>子どもたちの望ましい育ちを後押しするのはあなたです。</p> <p>現場から学ぶ姿勢を大切にしながら、色々な事にチャレンジしてみましょう。</p> <p>保育園訪問や、子育て支援の関わり等、できることはやってみましょう。</p> <p>主体的な学びを応援します。</p> | | | |
| 達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法 | <p>資格取得に当たり、知識や技術の習得だけでなく、子どもが安心して過ごせること、保護者が信頼して子どもを託せること等、保育者としての倫理観や人間性も重視してください。</p> <p>「その他」では積極的な授業参加の姿勢で評価します。実践者として、常に学ぶ姿勢を大切にしましょう。それだけに指導計画の提出、グループワークでの意見発表等も重要となります。</p> <p>提出された指導計画は、設定保育の実習を想定して加筆・修正等をして個別に返却しますが、授業の中で全体に向けてフィードバックも行います。</p> | | | |

